

第 61 回



薬のひとりごと

乱用薬物 と 脱法ドラッグ

分かっているようで 分かっていない乱用薬物

乱用薬物には「覚せい剤」や「麻薬」、「大麻」、「マリファナ」
などがありますが……

マリファナを説明できますか？
大麻とマリファナの違いは？

覚せい剤って何？

麻薬にはどんな種類が？

大麻やマリファナは麻薬ではありません。

薬物乱用

薬物乱用の定義

薬物乱用とは、医薬品を医療目的から外れて使用したり(モルヒネ、向精神薬など)、医療目的のない化合物(シンナー、大麻など)を不正に使用することを言う。

乱用薬物の種類

- ① シンナーなどの有機溶剤
- ② 大麻 (マリファナ、ハシツユ)
- ③ 覚せい剤 (アンフェタミン等)
- ④ 麻薬 (モルヒネ、コカイン等)
- ⑤ 合成麻薬 (LSD、MDMA等)
- ⑥ 向精神薬
- ⑦ その他 (マジックマッシュルーム、デザイナーズドラッグ等)

法律 (5法)

「毒物及び劇物取締法」

シンナー、トルエン

「大麻取締法」

「覚せい剤取締法」

「麻薬及び向精神薬取締法」

「あへん法」 あへん、ケシ

平成24年度の薬物事犯検挙数(国内)

| | |
|------------|---------|
| 覚せい剤 | 11,577人 |
| 大麻 | 1,603人 |
| MDMAなど合成麻薬 | 286人 |

(出典;
警察庁資料)

日本では圧倒的に覚せい剤が多い(海外は麻薬と大麻)

今は「**第3次覚せい剤乱用期**」と呼ばれている。

- ・ **第1次乱用期**; 終戦直後の混乱期(ヒロポン)
- ・ **第2次乱用期**; 昭和40年代半ば～63年
健全層(主婦や会社員)まで広がった。
- ・ 平成10年1月に「**第3次覚せい剤乱用期**」を宣言。
少年層、女性や初犯者の急激な増加。すそ野の広がり。

薬物乱用の特徴

1. 耐性
2. 薬物依存
 - 精神的依存
 - 身体的依存
3. 禁断症状
4. フラッシュバック(再燃現象)

1. 大麻

1) 大麻の分類

(1) 乾燥大麻(マリファナ)

花や葉を乾燥したもの。刻んだ葉を紙に巻いて喫煙によって成分を吸収する(マリファナタバコ)。

(2) 大麻樹脂(ハシッシュ、ハシシ、チョコ)

大麻草の分泌する樹液を集めて、固形状の樹脂にしたもの。使う時は小さく砕いてタバコに混ぜ、タバコの紙で巻いて吸う。

(3) 液体大麻(ハシッシュオイル、ハニー)

樹脂を溶媒で溶かし、濃縮してオイル状にしたもの。タバコに混ぜたり、タバコの紙に塗って吸う。

大麻の成分

カンナビノール、カンナビジオール、**テトラヒドロカンナビノール(THC)**が含まれ、THCが最も強い幻覚作用を持つ。これがどの位多く含まれるかによって効き目も変わってくる。

2) 大麻の精神作用

① 陶醉作用

心地よい気分、何ともいえない幸福感(グッドトリップ)
その時の状況によっては、不安、恐怖感(バッドトリップ)

② 幻覚作用

大麻の精神作用の中で最も顕著に現れる作用。
視覚や聴覚が鋭敏になり、色彩が鮮やかさを増す。
音楽は全身で聴く感覚になり、音楽と自分が一体化する感覚になる。「大麻取締法」による検挙者にミュージシャンや芸術家が多い。

③ 思考の変化

頭でものを考えることが出来ず、過去・現在・未来の関連性がわからなくなる。考えは幻想的になって意味不明、支離滅裂なことを言う。

2. 覚せい剤

「覚せい剤やめますか？ 人間やめますか？」（昭和57年）

「S(スピード)と名前は変わっても、行き着く先は同じ」（平成9年）

覚せい作用があり、疲労感を麻痺させ食欲を減退させる。アンフェタミンとメタンフェタミン（商品名ヒロポン）が指定されている。これらは明治時代に合成され、各国の製薬会社から精神興奮薬として商品化され、「うつ病」の治療に使用されていた。

日本での戦時中の使用

兵士； 恐怖を取り除くため「突撃錠」（ヒロポン）を配布

神風特攻隊員； ヒロポンの注射用アンプル

軍需工場； 長時間働くようにヒロポン配布

1951年（昭和26年）に「覚せい剤取締法」制定

覚せい剤の精神症状

【連用初期～中期】

精神の混乱（ハイな気分、不眠、多弁、陶酔感、不安など）

【連用中期～長期】

中毒症状は統合失調症に酷似（幻視、幻聴を伴う妄想状態）

→ 「誰かが自分のうわさをしている（関係妄想）」

「暴力団に追いかけている（追跡妄想）」

「自分は殺される（被害妄想）」など。

発作的に殺人、放火や自殺に走る。

覚せい剤の「依存」と「後遺症」

数回の連用によって「もう一度、陶酔感を味わいたい」という強い欲求。覚せい剤は摂取を中断しても麻薬のような禁断症状は起こらないが、耐えがたい疲労感、脱力感に襲われる。

3. 麻薬

① アヘン・アルカロイド系麻薬 (モルヒネ、コデイン、ヘロインなど)

アヘン(阿片)はケシの未熟果皮の乳液を乾燥したもの。モルヒネ、コデインなど20種類以上のアヘン・アルカロイドが含まれる。

② コカ・アルカロイド系麻薬 (コカ葉、コカインなど)

南米原産のコカの木の葉に含まれる成分。局所麻酔作用を持ち、眼の手術などの外科手術に革命をもたらした。最近では、タバコの先につけて吸引するクラックと呼ばれるタイプ(速効性)が大衆化し、低年齢化が問題となっている。

③ 合成麻薬(幻覚薬) (LSD、PCP、MDMAなど)

脳神経系に作用し、現実には存在しない異常な感覚をもたらす薬物。LSD、メスカリン、フェンシクリジン(PCP, 俗称エンジェルダスト)、MDMA (俗称エクスタシー)などがある。

脱法ドラッグ(合法ドラッグ)

合法? いいえ、**違法** **危険**
大変危険な**薬物**です!!

STOP!
DRUGS



※ 東京都では、合法ドラッグ・脱法ハーブ等と呼ばれるドラッグを「違法(脱法)ドラッグ」と呼んでいます。

脱法ハーブには
ダメされない!!
近づかない!!

「脱法ハーブ」は
あなたの人生をこわす
危険な薬物です!!



「脱法ハーブ」って何?

- 「脱法ハーブ」などと呼ばれて販売されるため、あなたも身体影響がなく、安全であるかのように誤解されていますが、大麻や、麻薬、覚醒剤などの薬物と同じ成分が含まれており、大変危険な違法なドラッグです。

大変危険です!!



- 一度使うと、自己コントロールが難しく、やめられない状態となったり、様々な健康被害や異常行動を引き起こすことがあります。

どんなふうに売っているの?

- 「ヘッドショップ」と称されるお店や、薬物専門のインターネットサイト等で売られています。
- 乾燥した植物片に大麻に似た薬物を混ぜたものがお香などと呼ばれて販売され、煙を吸うなどして使われます。

ダメされない!!



違法ドラッグには、(植物片の)脱法ハーブの他に、液体、粉末など、様々な形状があります。

事件・事故の例



近づかない!!



- 平成25年3月、吉祥寺の路上で女性が刺殺された事件で、偽造犯人容疑で逮捕された少年の所持品から、脱法ハーブとみられる植物片が発見された。
- 平成24年11月、渋谷区内のホテルで20代女性が意識不明の状態で見つかり、その後死亡した。同じ部屋にいた少年が「脱法ハーブを吸った」と供述した。

脱法ドラッグ（違法ドラッグ）（合法ドラッグ）

法の網をくぐり抜けるために「お香」「バスソルト」「ハーブ」「アロマ」など、人体摂取用と思われぬ偽装をして販売。色も形状も様々で、粉末・液体・乾燥植物など、見た目では分からないよう巧妙に作られている。

麻薬や覚せい剤の化学構造を少しだけ変えた物質が含まれており、体への影響は麻薬や覚せい剤と変わらない。

病院に搬送されても、成分が分からないため適切な治療ができない。



(例) お香



バスソルト



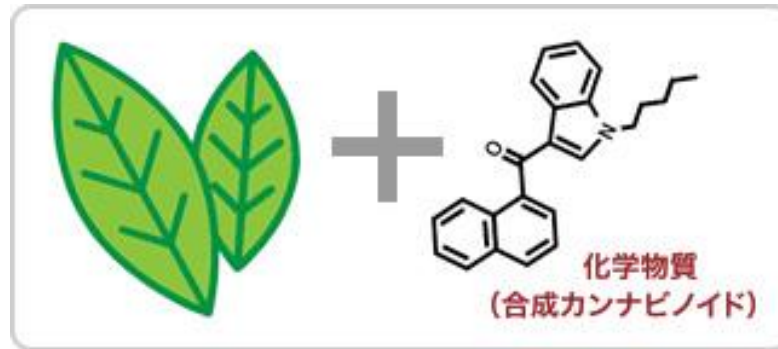
ハーブ



アロマ

脱法ハーブ(合法ハーブ)

乾燥植物に大麻に似た作用を持つ薬物(合成カンナビノイド)を混ぜ込んだもの。



大麻よりも毒性が高い可能性がある他、商品によって含有量が異なるため、体に及ぼす影響が分からず大変危険。

料理で使うハーブやポプリではない。